

重点事業

1 市民が大切にされるまちづくり

(1)【健康づくり推進事業】

本市の健康増進計画「健康みま21」に基づく、市民健康づくり運動の展開と定着を図るとともに、食育講座の開催や若年齢者健診の実施、壮年層に対する特定健診・特定保健指導の充実等、各階層に対応した生活習慣病の予防対策を展開し、生涯を通じた市民の健康づくりを推進する。

■ 健康増進計画「健康みま21」推進事業 1,000千円

本市の健康増進計画「健康みま21」に基づき、生活習慣病の発症・重症化予防に焦点をあて、各種団体・事業所・学校・自治会等に説明会を行い、啓発活動を積極的に展開する。

■ 食育推進事業 293千円

子どもの頃から「良い食生活習慣をおくる」ことができるよう幼稚園児や小学生等の保護者を対象に食育講座を開催するとともに、家庭における食育を支援し、子どもが健全な食生活を実践しやすい環境を整えるため、学校、保育所、市民ボランティア（ヘルスマイト）等とのネットワークを構築する。

若年齢者の健診事業（メンズ・レディース健診事業） 2,100千円

低年齢化する生活習慣病対策の一環として、若年齢者（40歳未満）の健診を実施し、早期からの生活習慣の改善を図る。

特定健診等事業（国保会計） 19,905千円

メタボリックシンドローム対策として、糖尿病や高脂血症、高尿酸血症などの生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とした特定健診の受診率を向上させるとともに、健診受診者を対象に、生活習慣病のリスク要因に応じた保健指導を行う。

地域介護予防活動支援事業（介護保険会計） 8,500千円

介護予防に関する講演会の開催や地域で自主的活動を展開するリーダーや介護予防事業等のボランティアとなる人材の養成を行うための介護予防サポーターの育成やふれあいいいきサロン等に対する活動支援を通じ、介護予防を図る。

阿波踊り体操普及事業 200千円

市民の健康づくりを家庭、地域、職場などから推進するため、阿波踊り体操を普及するボランティア指導員の育成と普及活動の充実を図る。

(2)【子育て支援事業】

子育てマイスターによる子育て中の保護者への相談支援活動の実施や障害児を育てる地域支援体制の整備を図るとともに、預かり保育事業等の充実により、子育て支援の推進を図る。

■ 子育てマイスター活動事業 114千円

住民参加による育児相談活動の充実を図るため、美馬市郷土資料館の一室を利用し、月2回「子育てフリースペース」を開設して、平成19年度に認定した子育てマイスター(34名)による、親子の交流や相談支援の講習会等を実施する。

■ 障害児を育てる地域支援体制整備事業 6,000千円

障害児を育てている保護者が、気軽に専門家等に相談ができ、保護者同士や子どもの交流、情報交換ができる交流の場を整備することにより、育児不安の軽減と相談支援体制の充実を図る。

■ 少子化対策事業 7,333千円

妊娠中の身体の異常を早期に発見する妊婦一般健康診査を2回から5回に増やすとともに、第3子以降の妊婦については受診回数を10回とし、健やかに子どもを産み育てるため、公費負担による健康診査の受診回数を拡充する。

児童手当の支給 217,306千円

小学校修了前の児童を養育している方に支給する児童手当について、月額3歳未満児一律10,000円、3歳以上児第1子・第2子5,000円、第3子以降10,000円を支給し、子育て家庭の支援を図る。

乳児医療費の助成 56,795千円

満6歳児までの乳幼児に対する医療費を助成し、子育て支援の充実を図る。
(平成19年度より所得制限を撤廃し、助成対象者を拡大)

預かり保育事業 16,989千円

平成19年度から市内全ての幼稚園児を対象に実施している預かり保育を本年度も引き続き実施し、園児の安全と子育て支援を図る。

ファミリーサポートセンター事業 5,880千円

「育児の援助を行う人」と「育児の援助を受ける人」が会員となり、保育所等へ子どもの送迎や保育所修了後の子どもの預かりなど、地域の中で助け合いながら子育ての支援を行う。

(3)【青少年健全育成事業】

地域社会全体で子どもの教育を支える体制づくりを行うための学校支援地域本部の設置、不登校児童の学校復帰を支援する適応指導教室の開設、就学指導やいじめ問題などに対応する学校教育指導員の配置や放課後子どもプラン事業等による放課後における児童と地域の人達との交流事業の推進など、郷土の未来を担う青少年の育成を支援する。

■ 学校支援地域本部事業 1,440千円

定年を迎える団塊世代など、地域の人々が持つ得意分野を活かし、小中学校の授業などの手助けを行うボランティア組織を設置し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。

■ 美馬市適応指導教室事業 2,000千円

美馬市に在籍する不登校児童生徒の自立と学校復帰を支援するため、美馬市適応指導教室を切久保小学校に設置し、不登校児童生徒通室指導を実施するとともに、教室に通えない児童生徒の家庭訪問など、児童生徒の学校復帰に向けた活動を行う。

学校教育指導員の設置 1,500千円

就学指導や進路指導のための調査・相談事業を充実するため、学校教育指導員を配置する。

放課後子どもプラン事業 9,000千円

学校施設等を活動拠点とする、安全・安心なこどもの居場所づくりを福祉分野と連携しながら、地域住民の参加を得て学習・文化活動等を推進し、こどもの安全と地域の人達との交流を図る。

放課後児童クラブ事業 4,450千円

教育分野との連携を図ることにより、放課後児童クラブの勉強やスポーツ・文化活動体制の充実を図り、更なる児童に対する安全性の確保と健全育成を図る。

プラスワンスクール推進事業 18,500千円

小学校延べ4校、中学校3校において、自分たちで考えたテーマに基づき、地域の人達の協力を得ながら通常の授業では得られない貴重な体験や自主的活動を行うことにより、児童・生徒の能力や個性の伸長を図る。

1. 江原南小学校・脇町小学校・穴吹小学校 「ひびけ みまっこ合唱団」
2. 岩倉小学校 「汚名返上！見直そう、ぼくのわたしの食生活」(継続)
3. 美馬中学校 「世代間の交流を深め、ふれあいの輪をひろげよう」
～まほろばの郷をつくろう～
4. 岩倉中学校 「みんなで育てる岩倉の花」
～岩中ブランドの花づくりをめざして～
5. 三島中学校 「2人の博士～三宅速とアインシュタイン～」(継続)

みまっこ健全育成事業 3,450千円

青少年の健全育成を図るため、児童・生徒の各種大会への出場助成を行うとともに、教育やスポーツ、文化活動などで活躍した児童・生徒を表彰し、また、市に関係する高校生、大学生及び一般の方が、スポーツ・文化活動等において、他の模範となる活躍をしたときに、懸垂幕等を掲示して広く顕彰を行う。

2 安心・安全・快適で便利なまちづくり

防災、消防、危機管理の推進や教育施設の耐震化、道路交通網や住環境の整備など、安全性と利便性が一体となった安心して暮らせるまちづくり事業を推進する。

■ **小型救急車整備事業** 4,400千円
〔 山間地域等の道路幅員の狭い地域の救急業務に対応するため、小型救急車の整備を図り、救急搬送業務の迅速化と効率化を図る。 〕

耐震性防火水槽整備事業 18,258千円
〔 地域防災力強化のため、耐震性防火水槽の整備を行い消防水利の確保を図るため、4基の設置を行う。 〕

消防団小型動力ポンプ積載車導入事業 3,610千円
〔 町村合併により再編を行った、消防団の消防機能の充実を図るため、機械器具を計画的に配備するため、小型動力ポンプ積載車1台を導入する。 〕

■ **自動体外式除細動器(AED)設置事業** 2,400千円
〔 市内の小学校に自動体外式除細動器を計画的に設置するため、平成20年度は、市内8校の小学校に設置する。 〕

■ **江原北小学校耐震改修・改築事業** 200,288千円
〔 校舎等教育施設の安全性確保のため、江原北小学校の耐震改修・改築事業を実施する。 〕

■ **木屋平中学校耐震化改修事業** 7,100千円
〔 計画的に各施設の耐震化事業を推進するため、木屋平中学校の耐震2次診断を実施する。 〕

穴吹小学校耐震化改修事業 9,500千円
〔 計画的に各施設の耐震化事業を推進するため、穴吹小学校の実施設計を行う。 〕

■ **美馬市水道事業統合計画策定事業** 10,269千円
〔 住民へ安定的な飲料水を提供するため、山間地域等に点在する簡易水道施設や飲料水供給施設を水道事業に業務統合する計画を策定する。 〕

木造住宅耐震改修事業 3,420千円
〔 木造住宅の耐震改修を推進するため、耐震改修アドバイザー3戸、木造住宅にかかる耐震改修3戸、耐震診断50戸を確保する。 〕

市道改良舗装事業 262,600千円
(市道の改良や舗装事業を27路線で実施する。)

3 環境と調和するまちづくり

市民参加による循環型社会の推進や生活環境の保全を図り、自然にふれあえる場として水辺の楽校を整備するとともに、下水道事業の推進などにより、自然と共生し調和するまちづくり事業を推進する。

■ 水辺の楽校整備事業	20,000千円
〔 自然環境と人間との共生を考える場として、子どもが安心して自然にふれあえる水辺の楽校の開校に向け、美馬町中島地区に自然散策を楽しむための四阿や管理棟等を整備する。〕	
公共下水道事業	221,000千円
(穴吹町穴吹地区から舞中島地区における特定環境保全公共下水道整備事業)	
農業集落排水事業	444,000千円
(美馬町天神・喜来・妙見地区における農業集落排水施設整備事業)	
合併浄化槽設置補助金	38,522千円
(5人槽38基、7人槽60基、10人槽2基、計100基を設置)	

4 活力がみなぎるまちづくり

農林業、商工業及び観光産業の振興を図るとともに、企業立地、企業支援策の充実を図り、地域の特性を活かした活力のみなぎるまちづくり事業を推進する。

■ 企業誘致促進制度による奨励金の交付	3,800千円
〔 美馬市事業所等設置奨励条例の新規従業員を雇用した場合の奨励金制度に基づき、奨励金の交付を行う。 (1年以上継続して雇用した場合1名につき20万円の奨励金を交付する。) 〕	
中山間総合整備事業	201,174千円
(農道改良1線、営農飲雑用水2箇所(うち一箇所県営事業負担金)で整備する。)	
治山林道事業	232,087千円
〔 林道開設・舗装8路線、作業道開設1路線、県営林道開設事業負担金4路線、治山事業4箇所を実施する。 〕	
地域森林システム整備事業	15,000千円
(山林の境界確認事業を市内333haの森林において実施する。)	
まちづくり交付金事業	159,830千円
〔 国選定「脇町南町」(うだつの町並み)と周辺との面的整備を行うことにより、双方に訪れる観光客の利便性の向上や、観光客の増加や滞在時間の拡大を図るため、南町並びにデ・レーケ堰堤の休憩所の整備、南町周辺のライトアップ照明の整備やうだつ町並み周辺の市道整備を行う。 〕	

特産品開発事業

1,500千円

関係者によるワークショップ、地産地消推進事業や美馬ブランドの創出事業等を行い、販路拡大事業を展開する。
また、高齢者農家や小規模農家等が生産する少量多品種の生産物を流通ラインに乗せ販売する生産者のネットワークをつくるシステムを構築する。

5 人が集い、交流が生まれる魅力あるまちづくり

グラススキー全国大会の開催や空き家を利用した体験・交流事業の実施により、本市に訪れる観光客や定住希望者と市民の交流促進を図る。

また、市民の文化活動では、第22回国民文化祭での「能楽の祭典」の開催を受け、新たに公民館活動に能楽教室を設けるなど、伝統文化の継承・創造、文化や観光が高まるまちづくり事業を推進する。

■ グラススキー全国大会

8,000千円

本年10月17日(金)から19日(日)に、木屋平中尾山高原において、高円宮久子妃殿下をお迎えし、高円宮牌グラススキージャパンオープン選手権と全日本グラススキー選手権大会を開催する。

■ 移住促進体験・交流事業

350千円

定住希望者等に生活体験と交流の場を提供するとともに、旧町村4地区に設置した地域定住アドバイザーによる定住希望者に対する相談体制の充実を図る。

■ 能楽教室

60千円

昨年秋に本市で開催された第22回国民文化祭「能楽の祭典」を一過性に終わらせることのないよう、公民館活動に「能楽教室」を新たに設け、文化の継承と創造を図る。

剣山登山バスの運行

1,668千円

木屋平滝宮から中尾山高原を経て剣山見の越までの間、季節便を運行し、剣山登山バスのネットワーク化を図る。
運行期間：4/26～5/6(ゴールデンウィーク) 5月・7月の土日祝日、7/19～8/31(夏休み期間中)
10/4～5、10/11～11/3(紅葉シーズン) 計92日間

美馬市文化祭実行委員会補助金

6,200千円

市民の文化活動の作品展示会や芸能発表会を行う美馬市文化祭を開催する。
また、郷土出身の三宅速博士と深い交友関係にあったアインシュタイン博士に関する資料パネルの展示、パネルディスカッションの開催やプラスワンスクールで研究した三島中学校生徒による研究発表などを実施する。

6 市民と行政による共創・協働のまちづくり

情報基盤の整備や効率的・効果的な行政運営を推進するとともに、市民参加型の自主自立のまちづくりを展開する。

(1)【共創・協働事業】

地域が抱える諸問題解決のため、地域住民自らが考える活性化事業や自治会が自ら考える住民主体の地域づくり事業を推進するため、「水源の里地域再生事業」や「自治会共創と協働モデル事業」を展開し支援を行う。

また、市民の健康増進を推進する「阿波踊り体操普及事業」のボランティア指導員や子育て支援を行う「子育てマイスター」など、市民パワー（協働）による各種事業の推進を図る。

■ 水源の里地域再生事業

2,000千円

高齢化や人口減少の影響により、維持・存続が危ぶまれる集落が増加する中、森林の荒廃、耕作放棄地、空き家の増加や社会サービスの提供が困難となっており、こうした地域が抱える問題に対し、地域住民自らが考える活性化事業の推進を支援するため、水源の里地域再生事業を展開する。

■ 子育てマイスター活動事業（再掲）

114千円

住民参加による育児相談活動の充実を図るため、美馬市郷土資料館の一室を利用し、月2回「子育てフリースペース」を開設して、平成19年度に認定した子育てマイスター（34名）による、親子の交流や相談支援の講習会等を実施する。

自治会共創と協働モデル事業

5,000千円

住民主体の地域づくりを推進するため、地域住民が自ら計画決定し、自らが地域づくり事業を実施する事業を支援する。

2つ以上の自治会が連携し、広域自治会により自らが実践する地域づくりのための地域計画を策定し、住民自らが地域づくりを推進していくモデル地区を選定して事業の展開を図る。

阿波踊り体操普及事業（再掲）

200千円

市民の健康づくりを家庭、地域、職場などから推進するため、阿波踊り体操を普及するボランティア指導員の育成と普及活動の充実を図る。

(2)【情報基盤整備事業】

情報通信格差の解消、地上デジタル放送の難視聴対策及び、音声告知放送システムの一元化による防災・行政情報のスムーズな伝達を行うため、高速インターネット網の環境整備を図る。

地域情報化基盤整備事業

2,191,700千円

平成18年度から実施整備している地域イントラネット網を活用し、情報通信基盤の格差是正を図るため、美馬町、脇町地区の加入者系光ファイバー網と音声告知システムの整備を図り、平成20年度末までに市内全地域での整備を図る。